

No.1

平成16年5月17日発行

飛騨市社会福祉協議会 設立記念式典・除幕式

飛騨市社会福祉協議会設立記念式典



飛騨市社会福祉協議会の設立記念式典及び除幕式が3月25日(木)に、古川町総合会館で行われました。



主な内容

- 会長あいさつ
局長あいさつ……………P2
- 役員等紹介……………P3
- 平成16年度事業計画
及び予算……………P4
P5
- 設立記念式典
寄付御礼……………P6
- 相談事業……………P7
- 社会福祉協議会
組織図……………P8



※この機関誌は、赤い羽根共同募金の配分により発行しています。



飛驒市社会福祉協議会

会長 山本美春

どの地域にも行き届く 温かい福祉の風を…

二月一日に飛驒市が誕生しましたことにより、四町村の社会福祉協議会も三月一日に飛驒市社会福祉協議会としてスタートしました。発足までに合併協議会を始めてとして関係諸会議を重ねて参りましたが、何かとご尽力賜りました関係者各位に心から感謝申し上げます。次第です。この度、本協議会の重責を背負うことになりました。その器ではありませんが全力を傾注して取り組む覚悟でございます。

市内四町のそれぞれの地域特性を生かしながら従来の福祉事業を実施し、徐々に飛驒市全体の事業へと統一発展させていきたいと考えています。

また、合併して福祉サービスが低下することなく、どの地域にも行き届く温かい福祉の風を送り込み、市内の様々な関係団体の参加という社会福祉協議会の特性を生かした福祉コミュニティづくり等、地域のいろんな方々に積極的に関わっていただきながら、「誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができるよう」また、特に高齢者の皆さんから、「長生きしていてよかった」と喜びの声が聞こえてくる地域福祉事業の充実発展に鋭意努力する覚悟でございます。

市民の皆様の積極的な協力と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



事務局長 中村輝政

健康で安心して暮らせる まちづくりを目指して

若葉がおる良き日に、この冊子を手に取り、目を通していただいでいることに心から感謝申し上げます。

このことは、皆さまが社会福祉協議会の活動に参加して下さっている証であり、私達の活動はそうした皆さま方に支えられ成り立っています。ありがとうございます。

さて、三月一日、旧町村協会の四つが合併し、新たな「飛驒市社会福祉協議会」としてスタートいたしました。これまでの社協の持つ、伝統と特色を生かしながら福祉活動を継続していき、そのうえで共通なテーマを新しく挙げ推進していきたいと思えます。

人は誰もが住み慣れた家庭や地域で、健康で生き生きとした生活ができることを望んでいます。しかし、私たちの地域や身の回りには、色々な課題が生じてきており、何らかの支援を必要とする人たちの福祉ニーズも、複雑多様化しています。

これからの地域社会において求められることは、住民同士がともに助け合い、どうやって自分たちでとも

に支える仕組みを、考え築いていくかです。このことは、地域の中でずっと以前から助け合いのシステムが存在してきたものです。

つい先日、神岡町の医院に用事があり、住宅地図では調べて行ったのですが何分初めての地域、目的地へ行き着けなく江馬町の道路でうろろ、そこに、立ち話に夢中になっている女性を発見し、思い切って尋ねると、初め説明してくれていましたが、「分かりにくい所やで、私に着いて来て。」と目的地まで誘導してくれました。合併して間もないときのこと非常に嬉しく、いつの間にか微笑んでいました。

隣近所や地区内での関係が希薄になつてきているこの頃、このような「助け合いのシステム」を各地域において、より豊に展開され、このまちに住んで良かったと実感できる地域社会の実現を目指し、皆さんとともに福祉のまちづくりに努力したいと思えます、どうか皆さまの声と力をおかしくください。

社会福祉法人 飛驒市社会福祉協議会役員名

－理事－

(平成16年4月7日から6月30日)

役職	氏名	選出区分	住所	役職	氏名	選出区分	住所
会長	山本 美春	学識経験者	神岡町船津1195	理事	帰家みさ子	女性会	神岡町船津951-6
副会長	中谷 佐敏	民生児童委員	河合町天生171	理事	西田 光城	自治会等役員	河合町稲越1684番地
副会長	三塚 俊夫	自治会等役員	古川町金森町14-25	理事	中村 守隆	民生児童委員	宮川町野首149
理事	樹下 宣一	学識経験者	古川町向町三丁目1-3	理事	秋田 一彦	自治会等役員	宮川町林71-2
理事	石原 肇	学識経験者	宮川町林465番地	理事	茂利 昌彦	自治会等役員	神岡町船津1133
理事	中畑喜代三	学識経験者	河合町角川561番地	理事	柚原 鉄次	民生児童委員	神岡町船津2046-2
理事	圓山 正憲	民生児童委員	古川町殿町11-11	理事	黒川 照子	ボランティア団体	神岡町東町429-1
理事	堂前 利夫	議会代表	宮川町菅沼94番地	理事	青山 隆雄	身体障害者協会	神岡町船津1398
理事	下田久太郎	老人クラブ	古川町数河1997	理事	古宿 稔	福祉事務所長	神岡町吉田2436-1
理事	中谷 茂	施設長	古川町是重一丁目7-11				

－監事－

監事	福田 幸博	学識経験者	古川町谷275	監事	沖野 好夫	学識経験者	神岡町殿822-1
----	-------	-------	---------	----	-------	-------	-----------



社会福祉法人 飛驒市社会福祉協議会評議員

(平成16年6月1日から平成18年5月31日)

役職	氏名	選出区分	住所	役職	氏名	選出区分	住所
評議員	塚腰 睦	自治会等役員	古川町高野1227	評議員	溝端進太郎	教育関係団体	宮川町林223
評議員	下出 強	自治会等役員	河合町保木林63	評議員	和仁憲一郎	教育関係団体	神岡町船津1303-9
評議員	井畑 浩一	自治会等役員	宮川町打保674	評議員	長瀬 藤憲	商工会	古川町三之町2-7
評議員	坂本 邦貞	自治会等役員	神岡町東町180	評議員	木村 良一	商工会議所	神岡町殿768
評議員	井之口藤男	民生児童委員	古川町沼町348	評議員	重盛 東衛	保護司	古川町中野575
評議員	中島 勇	民生児童委員	河合町角川950-1	評議員	杉阪 徹英	人権擁護委員	神岡町西94
評議員	中谷 博幸	民生児童委員	宮川町西忍335	評議員	塚本 勝久	遺族会	古川町高野651
評議員	横川 奎二	民生児童委員	神岡町東町494	評議員	森下宗四郎	ボランティア	古川町上町256
評議員	水川 正雄	老人クラブ	河合町稲越434	評議員	二山 恩子	ボランティア	古川町栄2-10-7
評議員	野村 恢司	老人クラブ	宮川町林375	評議員	大霜 圭子	ボランティア	河合町角川79-6
評議員	船坂 良孝	老人クラブ	神岡町柏原706	評議員	梶村 君子	ボランティア	宮川町林163
評議員	岩佐 敦子	女性会	古川町式之町13-16	評議員	新家 薫	ボランティア	神岡町山田1569-1
評議員	原 貴代子	女性会	河合町角川889	評議員	加藤 和子	ボランティア	神岡町船津1999
評議員	水畑 恵子	女性会	宮川町小豆沢220	評議員	稲葉 昌久	医師会	神岡町船津1072-1
評議員	上口 逸郎	身体障害者団体	古川町中野626-1	評議員	池田 高佳	ライオンズクラブ	古川町向町1-8-27
評議員	宮本 章	身体障害者団体	河合町稲越434	評議員	内海 良郎	学識者	古川町上町498-1
評議員	和泉 靖夫	身体障害者団体	宮川町戸谷224	評議員	村井 充佳	福祉施設	神岡町船津1269-2
評議員	竹川 恒子	母子寡婦福祉会	古川町大江3128	評議員	北平 嗣二	まちづくり団体	古川町向町3-8-1
評議員	直井 隆次	教育関係団体	古川町栄1-2-25	評議員	鈴木 進悟	まちづくり団体	神岡町東町440-1
評議員	畑 亮	教育関係団体	河合町羽根509				

平成十六年度社会福祉法人 飛驒市社会福祉 協議会事業計画

一、活動基本方針

三月一日に二町二村の社会福祉協議会が合併して、社会福祉法人飛驒市社会福祉協議会が発足しました。この新しい枠組みの中で、それぞれの社会福祉協議会の活動を後退させることなく、飛驒市の福祉の推進のために社会福祉協議会として地域福祉活動の推進やボランティア活動の振興を中心に、どのような活動をすべきか、行政と連携を取りながら取り組んでいきたいと考えています。

福祉とは、「普段の暮らしを幸せにすること」であり社会福祉は「個人が人として尊厳をもって家庭や地域の中で、その人らしい自立生活が送れるように支える」こととされています。誰もが、住み慣れたこの飛驒市で過ごしていくためには、どのようなサービスがあれば良いかを他人事ではなく、自分の将来の事として捉えることが必要であると思います。また、ノーマライゼーション（障害を持つ人も持たない人も同じ人間として社会の中で特別視されず、普通に暮らせること）の理念の浸透、住

民が主体となって進める福祉活動の広がり等に伴い、同じ市に生きる様々な構成員が互いに助け合うコミュニティづくりをめざすことが必要であると思います。

少子・高齢化等、社会情勢の変化に伴い、平成十二年六月に改正された「社会福祉法」において、市町村の社会福祉協議会は「地域の福祉の推進を図ることを目的とする団体」であると明確な位置づけがされ、住民参加の地域福祉の推進を支える中核的な存在として大きな役割を担うことになりました。地域で共存する社会づくりを目指す事業活動の推進に努めることが規定されています。

飛驒市の高齢化率は二十八%を超え、三・五人に一人以上が六十五歳以上という超高齢社会となっています。介護保険法をはじめ障害者支援制度等の法整備が進み、いよいよ社会福祉の基礎構造改革が本格化し、福祉サービスは「措置」から「利用者主体の選択に基づく利用」を基本とされています。旧古川町、河合村、宮川村の介護保険に関連するサービスは新設された「社会福祉法人 吉城福祉会」に移行されました。社会福祉協議会としては、小地域の住民福祉活動やボランティア活動、住民参加による福祉サービスなどのソフト

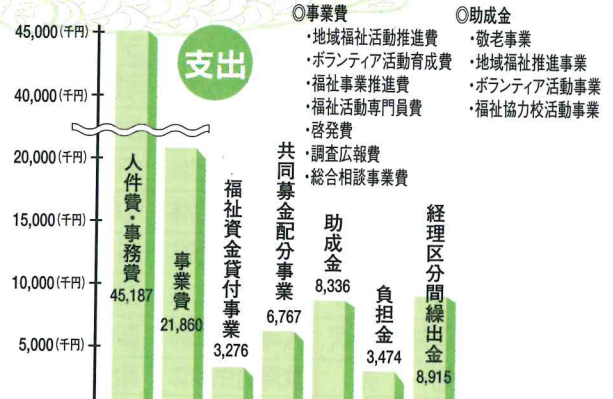
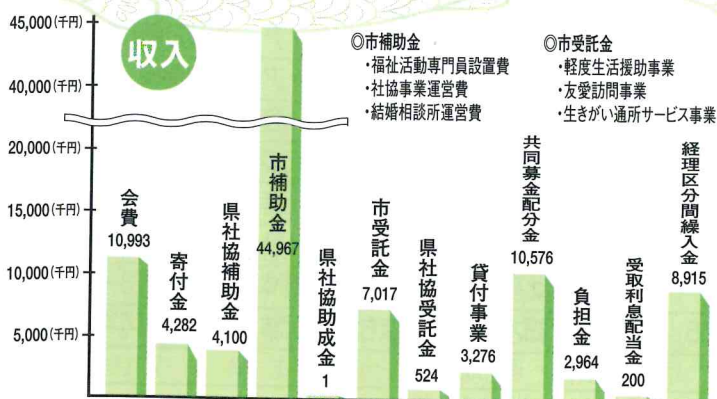
面を積極的に組織・開発することが必要となります。

今後、社会福祉協議会とは、住民が会員として運営されている法人であり提供しているサービスや活動内容を市民により一層リアルとしていく必要があります。地域に根ざした互譲の福祉精神を大切にしながら、「個人が尊厳を持って、その人らしい自立した生活が送れるように支える」

ことを基本理念として、地域での総合的な生活支援を展開するため、福祉と保健事業について行政と市社協の連携、組織体制の強化を図らなければなりません。生活に密着した地域社会において、住民が自主的な福祉活動を自由かつ継続的に行うことができるような基盤を作り、地域の実情をよく把握した上で創意工夫し、公私の福祉サービスが総合的に提供されるよう努めたいと思います。

行政区をはじめ、市内の様々な団体の参加という社会福祉協議会の特性を生かした福祉コミュニティづくり等、地域の方々に積極的に関わっていただきながら、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」、「心とこころがふれあう福祉のまちづくり」を目指して取り組んでいきたいと思

平成16年度 一般会計予算 総額 97,815千円



- ◎事業費
 - ・地域福祉活動推進費
 - ・ボランティア活動育成費
 - ・福祉事業推進費
 - ・福祉活動専門員費
 - ・啓発費
- ◎助成金
 - ・敬老事業
 - ・地域福祉推進事業
 - ・ボランティア活動事業
 - ・福祉協力校活動事業

● 地域福祉活動の推進

- ・地域福祉活動推進事業(町内43行政区)各区における福祉事業の推進～古川町
(福祉サービス等に関する勉強会、介護方法の学習会、ハートピア古川の見学会、一人暮らし、老夫婦世帯慰問活動)
- ・福祉協力員による見守り活動～神岡町
- ・地域公民館の福祉活動に対する助成～神岡町
- ・河合町、宮川町へも地域での活動を展開できるよう推進
- ・「ふれあいサロン」の開催

● 福祉協力校事業

- ・福祉協力校として指定～市内14校
(古川小学校、古川西小学校、河合小学校、宮川小学校、山田小学校、神岡東小学校、神岡西小学校、山之村小中学校、古川中学校、河合中学校、宮川中学校、神岡中学校、吉城高校、飛騨神岡高校)
- ・ワークキャンプの開催(夏休みに社会福祉施設等において体験学習)
- ・夏休み、冬休みを利用して給食センターの調理員と児童・生徒による給食サービス
- ・総合学習に協力(車いすの体験やインスタントシニアの体験)
- ・福祉に関する意見・標語の発表
- ・土曜日のボランティア体験学習(給食サービス、ちびっこランド等)

● 障害者福祉事業

- ①障害児ふれあい交流会への協力・・・友和会、手をつなぐ親の会へ補助
- ②視覚障害者の方へ声のサービス
視覚障害者の方に「飛騨市の広報誌」、「くらしと県政」、「福祉ひだ」をテープに吹き込んで聞いていただく。

● 母子・父子福祉事業

- ①児童・生徒お楽しみ会への協力
夏休みに開催される日帰り旅行へ助成
- ②小学校入学祝い、中学校卒業祝い
母子・父子家庭の児童・生徒で小学校に入学、中学校を卒業される方にお祝いを贈る。

● ふれあいのまちづくり事業(総合相談)

- ・ふれあいのまちづくり事業の相談事業(弁護士による無料法律相談を8回実施)
- ・心配ごと相談所の開設
- ・電話相談の実施
- ・「ふれあいのまちづくり推進会」の組織化をし、福祉のまちづくりに向けての幅広い意見を取り入れながら事業を推進します。

● 福祉資金貸付事業

- (1) 低所得者の福祉向上を図るための実態調査、自立支援
- (2) 生活福祉資金(離職者を含む)の活用と自立指導

● 団体事務

- ◎飛騨市民生委員児童委員協議会
- ◎飛騨市各地区民生委員児童委員協議会
- ◎飛騨市ボランティア連絡会

● 共同募金運動の推進

- ①赤い羽根共同募金運動 10月1日から12月31日
- ②歳末助け合い募金運動 12月1日から12月31日

● 飛騨市結婚相談所運営について

飛騨市結婚相談所の運営(飛騨市の4町村において再編し、実施)

● ボランティア活動・育成事業の推進

- ・飛騨市ボランティア連絡会の組織化
- ・一人暮らしの方への給食サービス
- ・施設への慰問、清掃等の活動
- ・手話、音訳ボランティア
- ・ボランティア入門講座の開催
- ・ボランティアリーダー研修
- ・ボランティアフェスティバルの開催
- ・ボランティア情報誌の発行

● 老人福祉事業

- ①一人暮らし老人交流会(1泊2日の交流会)
- ②高齢者世帯・ひとり暮らし老人ふれあい懇談会の開催～古川町、河合町
- ③高齢者ふれあい料理教室の実施～河合町
- ④一人暮らし老人、老夫婦世帯宅への給食サービス
各町村のこれまでの方法で実施し、ボランティアを募集しながら、全市的に実施
- ⑤介護機器の貸し出し(ギャッチベッド、車いす等)
介護保険に該当しない骨折だけの方や障害者の方を対象に貸し出しをしていきます。
- ⑥家族介護者交流事業
介護者の方が会し、日頃介護されている上での悩み事などを話し合い、心の中にある不安を少しでも解消し、リフレッシュしていただく。
- ⑦一人暮らし老人宅の防火点検(古川消防署、神岡消防署、中部電力、北陸電力の協力)
- ⑧在宅寝たきり老人等の訪問活動
- ⑨敬老会助成事業(地域福祉推進事業との兼ね合いも検討しながら実施)～神岡町

● 児童福祉事業

- ①児童福祉の推進
人形劇公演の助成～神岡町
- ②児童の健全育成のため関係団体との連絡強化
- ③保育園の地域交流活動の協力と支援

● 社会福祉大会の開催

「飛騨市社会福祉大会」(仮称)において、児童・生徒として、ワークキャンプや給食サービスに参加した感想や将来どうありたいか等についての意見と、福祉にまつわる標語の募集をし、各学校で選抜された方に発表していただきます。これらと講演会、映画の上映会と組み合わせ、飛騨市福祉事務所と共催により、社会福祉大会等を開催します。

● 市受託事業

- 市からの受託事業として、在宅福祉サービス事業を受託し実施します。
- ①ひとり暮らし・老人世帯の見守り活動(安否確認訪問、友愛訪問、電話訪問)
- ②近隣見守りネットワーク活動の充実
民生委員・福祉協力員等による、ひとり暮らし高齢者を中心にした見守り活動の充実
老人見守り事業(「かたらい」を月1回発行)ブロック別研修会の実施～神岡町
- ③高齢者生活支援(軽度生活支援)事業
- ④生きがいデイサービス事業～神岡町

● その他の事業

- ①広報誌「福祉ひだ」の発行 年4回
- ②飛騨市の福祉計画等策定会議への参画
- ③飛騨市福祉計画等策定会議への参画から地域福祉活動計画の策定へとつなげる
- ④地域福祉権利擁護事業の推進

設立記念式典開催



三月二十五日に、評議員会を開催し、その後、洞口 博典議会議員、鈴木 富彦飛驒地域福祉事務所長、船坂 勝美市長、石田 隆司市議会議長以下、福祉関係団体の来賓の方をお招きして約三百名の参加の下、飛驒市社会福祉協議会設立記念式典を開催しました。

また、式典の後には、「住み慣れた地域で老いるには、二十一世紀の超高齢社会を考える」と題してノンフィクション作家の高見澤 たか子先生にご講演いただきました。飛驒市の高齢化率は二十八%を超え、超高齢社会の市となっておりますが、どのように連携を取りながら町づくりを進めるべきかについて身近な家族を例にわかりやすくお話しいただきました。

飛驒市結婚相談所

古川町総合保健福祉センター相談日

毎月第1水曜日

午後1時～午後5時

毎月第2土曜日

午後1時～午後5時

毎月15日

午後6時～午後8時

(1月、8月は休み)

(TEL (0577) 73-6483)

※相談日は、電話による相談も受け付けます。

秘密は厳守します。お気軽にご相談下さい。

神岡町福祉会館相談日

毎月第1水曜日

午後1時～午後4時

毎月第3日曜日

午後6時～午後8時

これより奥に岐阜県がない神岡の北端、下之本の生まれです。画業、かれこれ五十余年。戦時中の徴用で名古屋の軍事工場へ……。その三日目に東京と名古屋に本土初空襲、目の前のガスタンクの上をすれすれに米軍機が飛び去った。恐ろしかったのは、米軍機と知った、夕方のラジオのニュースを聞いてからだった。「益一は大丈夫か・・・。」心配する郷里の村人に「行って三日目に爆弾でやられるなら運命」とは、後日耳にした母の

「匠さん日記」の巻せし かみやますこ

(本名 上家 益一)

これまで神岡町の社協だよりに漫画を掲載していただいた「かみやますこ」先生に飛驒市の福祉だよりにも引き続き掲載をお願いしました。題名は「飛驒の匠」にちなんで「匠さん日記」と付けられました。先生より、自己紹介をいただいております。



言、三人の息子を戦地に送っても人前で涙も見せなかつた母らしい。さて漫画は見るよりも描くのが好き、戦後各種の新聞や週刊紙が「読者の社会まんが」を募集しており、いつしか常連になり本名では恥ずかしいと「かみやますこ」のペンネームにしたが、女性かと思つた読者から恋文まで届いたり、現在「日本漫画家協会」会員です。

ご寄付ありがとうございます。



平成十六年三月一日～四月十四日受付分

◆「みつな会」一同様

三六、〇〇〇円

◆富山市 栃の実会様

一〇〇、〇〇〇円

◆樹下 健志様

一〇〇、〇〇〇円

◆匿名様

一、八四七円

◆谷 弥志様

二〇、〇〇〇円

◆(亡) 杜下 大三様

一、〇〇〇、〇〇〇円

古川地区心配ごと相談所

相談日	相談員	電話	相談員	電話
5月10日(月)25日(火)	野村 春雄	73-4388	桑田 邦雄	73-2202
6月10日(火)25日(水)	西村 英雄	73-3162	古田 澄雄	73-5598
7月10日(土)25日(日)	後藤 英輔	73-3035	井之口 藤男	73-2963
8月10日(火)25日(水)	北平 明	73-4041	重山 邦雄	73-3246
9月10日(金)25日(土)	野村 久乃	75-2559	天木 喜代	73-2568
10月10日(日)25日(月)	山村 勇吉	75-2146	布俣 重子	75-2487
11月10日(水)25日(木)	袖村 正	73-2325	三嶋 喜代男	73-2443

◎ 午前9時から午後3時 古川町保健福祉センター2階 相談室

行政相談員 下出 弘幸 73-3543

人権擁護委員 福山 誠 73-3832

上口 五百子 73-3806 の3名が順番で相談に応じます。

河合地区心配ごと相談所

相談日	会場	相談員	電話
6月 9日(水)	セゾン稲越	松田 弘茂	65-2640 65-2622
7月14日(水)	レジェンドあすか	中谷 敏市	65-2216 65-2346
8月 4日(水)	レジェンドあすか	中谷 敏市	65-2216 65-2346
9月 8日(水)	セゾン稲越	政木 茂 政井 美千代	65-2622 65-2174
10月 6日(水)	羽根地区公民館	下出 仁作 畑 綾子	65-2258 65-2145
11月10日(水)	河合町保健福祉センター (すこやか館)	中島 勇子 宮下 朝子	65-2528 65-2431

◎ 午後7時から午後8時30分

宮川町心配ごと相談所

相談日	相談員	電話	補職名	窓口担当地区
5月21日(金)	野村 丈正	63-2420	人権擁護委員	町内全域
6月18日(金)	下出 愛子	65-2868	民生・児童委員 結婚相談所	小谷・大無雁・落合
7月16日(金)	水畑 實	62-3062	民生・児童委員	杉原・小豆沢・巣納谷・桑野・祇宜ヶ沢上
8月20日(金)	大下 和穂	63-2144	民生・児童委員	丸山・巢之内・種蔵・菅沼・三川原
9月17日(金)	秋田 一彦	63-2419	行政相談員	町内全域
10月15日(金)	小坂 喜男	62-3212	民生・児童委員	打保・戸谷・塩屋・中沢上・洞
11月19日(金)	中谷 博幸	63-2238	民生・児童委員 結婚相談員	高牧・西忍・森安

◎ 毎月第3金曜日午後1時から午後4時 宮川町保健センター 2階 和室

神岡地区心配ごと相談所

相談日	相談員	電話	相談員	電話
5月23日(日)	沖野 好夫	2-0986	鳥羽 敬子	2-5025
6月11日(金)	鈴村 貞夫	2-3639	蒔田 ソデ子	2-1340
27日(日)	横川 奎二	2-1215	黒川 照子	2-0152
7月 9日(金)	沖野 好夫	2-0986	蒔田 ソデ子	2-1340
25日(日)	鈴村 貞夫	2-3639	黒川 照子	2-0152
8月 6日(金)	横川 奎二	2-1215	鳥羽 敬子	2-5025
22日(日)	沖野 好夫	2-0986	黒川 照子	2-0152
9月10日(金)	鈴村 貞夫	2-3639	鳥羽 敬子	2-5025
26日(日)	横川 奎二	2-1215	蒔田 ソデ子	2-1340
10月 8日(金)	沖野 好夫	2-0986	鳥羽 敬子	2-5025
24日(日)	鈴村 貞夫	2-3639	蒔田 ソデ子	2-1340
11月12日(金)	横川 奎二	2-1215	黒川 照子	2-0152
28日(日)	沖野 好夫	2-0986	蒔田 ソデ子	2-1340

◎ 金曜日 午後6時から午後8時 日曜日 午前10時～正午 神岡町福祉会館

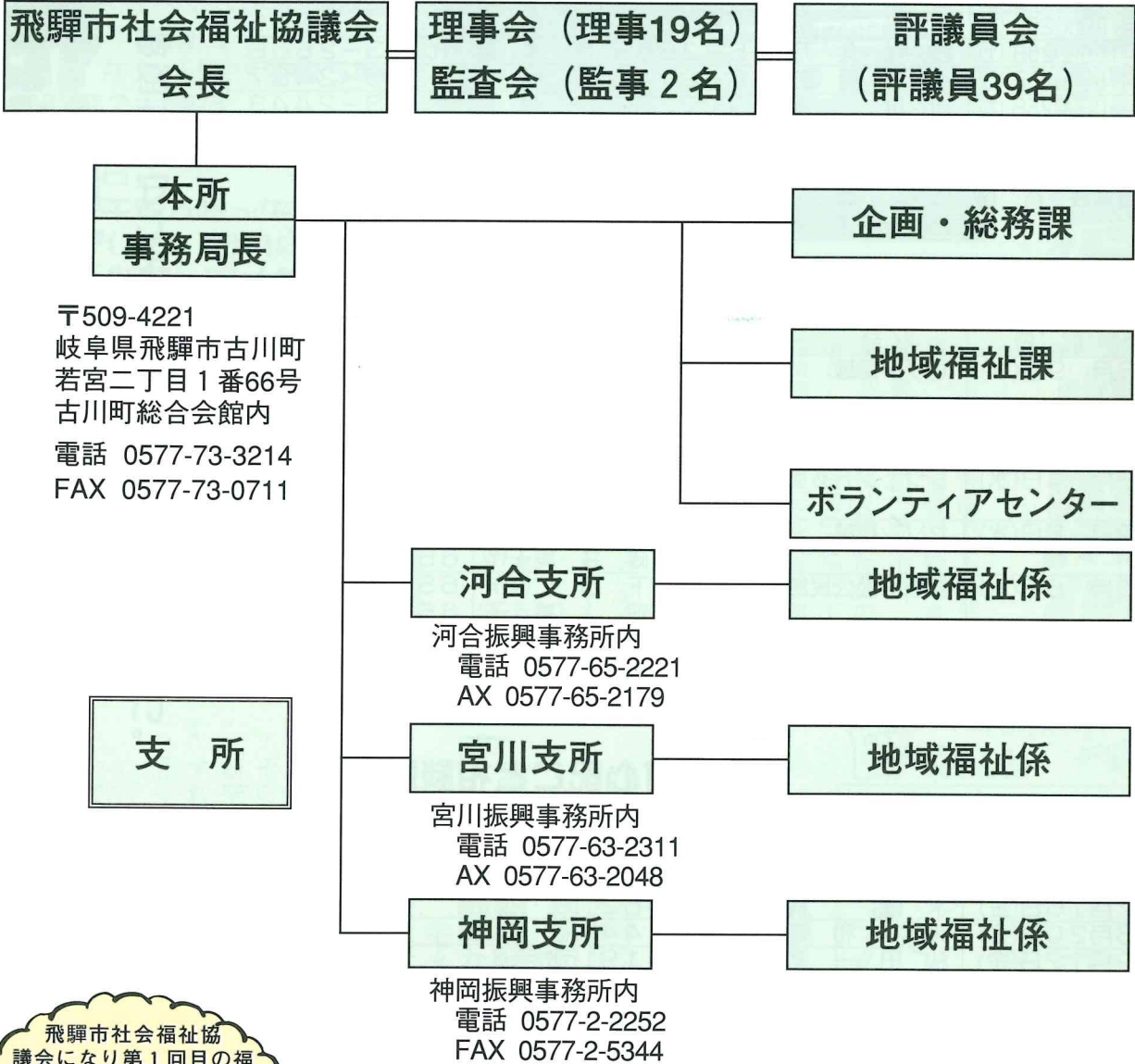
相談日はいつ？

相談事業紹介

秘密は厳守します。お気軽にご相談下さい。



飛驒市社会福祉協議会の組織



飛驒市社会福祉協議会になり第1回目の福祉だよりを編集してみました。こんな情報を掲載してほしいなどの皆様からのご意見や感想をお待ちしています。電話またはe-mail hidasyakyo@cocoa.ocn.ne.jpにて受け付けています。漫画を描いていただいたかみやますこ先生からも漫画の感想をお寄せ下さいとの事でした。



三月一日に飛驒市社会福祉協議会が発足して、二ヶ月半が経過しました。特に、社会福祉協議会の職員は、これまでも月に一回は会議をしながら事業を推進してきたため、職員同士は合併の決まる前から交流があり、合併したというよりは、一緒に集まって仕事をしているという感じがしています。古川町で推進してきた地域福祉と神岡町で推進されてきた地域福祉の方法は違ってきますが、それぞれの特性や地域性を生かしながら河合町、宮川町へも広げていきたいと考えています。

特に、河合町、宮川町の方へはボランティア活動への協力のチラシを配布させていただいています。皆様のご協力をお待ちしています。

